

【令和4年度～第2版～】大会開催における感染症拡大防止対策全般に関するガイドライン

日頃より本連盟の諸事業にご理解とご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

以下、大会運営に関するご案内ですので、チームへの周知徹底にご協力くださいますようお願い申し上げます。

本連盟主管の各種大会において

【大会運営に関する留意すべき点および諸注意】

- ①新型コロナウイルス感染拡大を避けるための取組として、社会情勢を鑑みた大会実施形態をとるものとします。大会(もしくは会場)における有観客開催・無観客開催の判断は適宜行い、本連盟のホームページを通じて周知するものとします。
- ②新型コロナウイルス対策のため、①閉じられた空間に、②一定以上の人数が、③一定以上の時間、滞在するのを避けることを目的とします。
- ③大会参加者(選手、引率責任者、コーチ、Aコーチ、マネージャー、トレーナー、役員、審判)以外の者の試合会場への立ち入りを認めません(TeamJBAにて選手登録しているベンチパーソン以外の部員は選手として扱います)。
注1:引率責任者、コーチ、Aコーチ、マネージャーは各1名までとし、ベンチ入りするものとします。
注2:トレーナーは1名までとします。
- ④無観客開催の場合、それ以外の保護者・OBやチーム関係者等の入場は、すべてお断りさせていただきます。また、有観客開催の場合であっても、制限を加える場合があります。詳細は本連盟のホームページを通じて周知するものとします。
注:無観客開催において「映像記録員」が認められた場合は、別途資料による指示に基づくものとする。その際、上限人数を越えて来場することが無いようにすること。また、試合途中で「映像記録員」が入れ替わることは認められない。
- ⑤大会会場では、必ず検温を実施してから入場頂きますようお願いいたします。なお、37.5度を超える発熱が見られた場合は、当該の方の入場は認めません。(「ワクチン接種による副反応」など理由が明らかと思われる発熱であっても同様です。)
- ⑥大会の試合会場においては、適宜会場内の換気を行います。
- ⑦新型コロナウイルスに関する事象が発生した場合は、本連盟より別途示しています「新型コロナウイルス感染症発生時連絡フロー」に基づき対応するものとします。また、別項【チーム(出場校)の参加判断基準について(改訂版)】の通りとし、大会参加チームにはこれを遵守していただきます。
- ⑧マスク(「不織布」マスクを推奨)の着用にご協力をお願いいたします。試合出場時以外のマスクを外した状態での会話や声出し等に関しては、控えて下さい。また、マスクをした状態であっても、大声で応援することは慎んでください。自チームのみならず、相手チームや会場校に迷惑をかける場合があります。趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

す。なお、試合中はマスクの着用を許可いたしますので各チームでご判断ください。プレー中に装着する場合は、熱中症・脱水症予防の観点から「布・ウレタン」マスクを推奨します。なお、プレー中にマスクが落ちた場合については本人が拾うようにご注意ください。

⑨クーラーボックスやジャグタンクなどを各チームで使用することは禁止致しませんが、感染症拡大防止の観点から、飲み物やタオルなどは個人管理を原則としてください。

⑩試合後のベンチのアルコール消毒にご協力ください。また、ゴミは各チームで必ずお持ち帰りください。

⑪感染対策として、次のような行為が無いように各チームで徹底してください。

- 試合前、試合後に相手チーム、審判と握手は実施しない。
- 両チームベンチへの挨拶を実施しない。
- 円陣はしない。
- ハイタッチ、抱擁を行わない。また、倒れた選手に手を貸さない。(状況による)
- 咳エチケットを守ること。
- コート上でチームメイト、審判と会話する際にもお互いの距離について配慮すること。
- ベンチではマスクを着用し、会話を控えること。

⑫大会参加前のPCR検査・抗原検査の実施をお願いする予定は、現時点ではございません。

⑬新型コロナウイルス対策のワクチン接種について、ワクチン接種の有無により大会参加の可否が生じることはありません。ただし、試合に出場する可能性のある選手は、少なくとも試合の1週間前には接種しないことを推奨します。

⑭大会2日前からは濃厚接触者判定を避ける意味でも、自チーム以外との対外試合を行わないことを推奨します。

⑮新型コロナウイルス感染症に関する事例発生後は、関係各所と確認・連絡・報告を速やかに行う必要があります。加盟校より本連盟に提出済みの緊急連絡先に記載のある方へ、確認のための連絡を入れることがあります。予めご承知おき頂き、速やかな対応が可能なお協力をお願い致します。なお、各チームの健康状態に関する虚偽の報告や隠蔽と思われる事例が発覚した場合、厳重な処分を科すことがあります。

⑯『JBA バasketボール事業・活動実施ガイドライン(手引き) 第5版(2022年5月12日作成)』も合わせてご確認ください。http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBA_Guideline_5th_20220603.pdf



⑰その他、対戦校や会場校の負担や迷惑になるようなことがないように、大会運営にご協力をお願いいたします。

【チームの集合・解散・テーブルオフィシャルズ(TO)およびフロアワイパーについて】

①自分たちの試合の2試合以上前に集合しないでください。(例 第4試合のチームは第2試合が始まる前に集合しないこと)

②会場校に到着次第、必ずチームの代表者1名が入場し、会場主任に到着報告をしてください。その際、「チーム参加確認書」および「東京都高等学校女子バスケットボール大会参加確認書」(以下、「大会参加確認書」と記す)の提出をお願いいたします。会場(体育館)内への立ち入りが許可される前に、代表者以外の方が会場内に入ることは控えてください。また、会場諸注意をチーム内で周知・徹底してから会場内に入るようにご協力をお願いいたします。

③大会開催期間中に緊急事態宣言が発出された場合においては、ベンチ入りできない方の入場はお断りさせていただきます。

④自チームの試合後、ミーティング、更衣等が終わったら、TOならびにフロアワイパーを担当する生徒以外は、すみやかに解散してください。チーム内で最後に会場を出る生徒及び顧問の先生は必ず会場主任に解散報告をし、当日の滞在時間を伝達してください。

- ⑤集合から解散までの間、指定された場所にいてください。(チーム到着報告時に会場主任に確認してください)
- ⑥会場内が長時間大人数になることを避けるために、ベンチパーソナル以外の部員は自チームの試合中のみ会場内にいるようにご協力ください。なお、有観客開催の場合であっても、長時間の滞在はご遠慮願う場合があります。
- ⑦TO およびフロアワイパーは、基本的に勝ちチームが全て担当するものとします。TO4名、フロアワイパー4名の計8名を基本としますが、難しい場合には会場主任と相談の上、柔軟に対応するものとします。

【スカウティングについて】

- ①1チームにつき3名までの範囲に限定し、スカウティング活動を行うことができます。この3名は生徒のみでも構わないものとしますが、必ず自チームの顧問教諭と連絡が取れるように準備しておいてください。
- ②スカウティング活動を行う場合は、各会場主任の指示に従ってください。
- ③入場に関しては、試合参加時と同様とし、**必ず「チーム参加確認書」と「大会参加確認書」を提出してください。**

【「大会プログラム冊子」および「大会参加費の領収書」について】

今年度より「大会プログラム冊子」は、オンライン掲載のみとなりました。本連盟のホームページでご確認ください。

「大会参加費の領収書」は、原則として、各種大会の初戦にあたる会場でお受け取りください。

※大会が開催されずに中止となった場合、参加費を次大会に繰り越す場合があります。その際、参加費の領収書は繰り越した大会のものを発行させていただきます。

【大会に関する案内や連絡について】

- ①大会に関する案内や会場変更等の連絡は、基本的に本連盟のホームページとします。こまめにホームページをチェックし、大会に関する案内等を見逃すことのないように、ご注意ください。
- ②大会を棄権する場合は、必ず各支部長までご連絡下さい。やむを得ず連絡がつかない場合は、競技委員長までご連絡ください。**状況によって、即時対応できない場合があります。折り返し連絡がつく番号からお電話下さい。**

〈確認〉

大会参加申し込み時点で参加しない(大会出場をしない)場合 …「不参加」となります。

大会参加申し込み後(申込書の提出後)に参加を取り消すおよび参加不可となった場合 …「棄権」となります。

【チーム(出場校)の参加判断基準について(改訂版)】

〈前提として〉

「JBA バasketボール事業・活動実施ガイドライン(手引き)第5版(2022年5月12日作成)より抜粋」
 事業・活動前健康チェックシートの扱い

- ① 2週間前からとしているが、健康観察に意識を持って頂くためと、以前は陽性になった場合には14日間の隔離が必要であったことからの期間設定となっています。
- ② 引き続き、健康チェックは2週間前から行うことを改めて認識してください

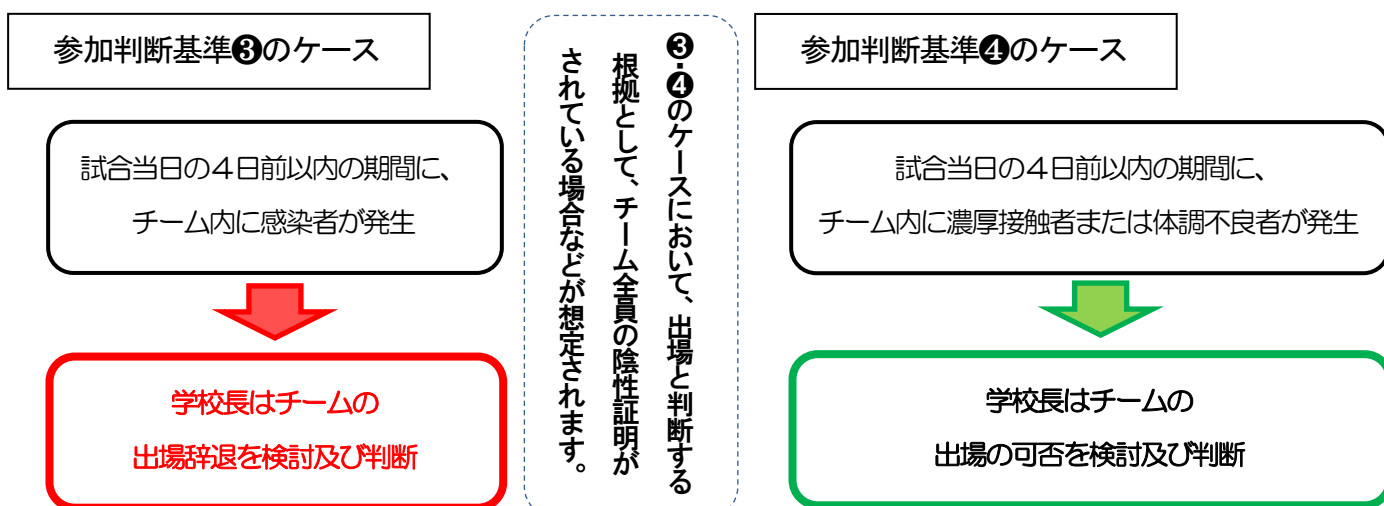
注:チーム(出場校)の参加判断基準は、以下の内容を優先します。そのため、過去2週間の健康状態において、チェックシートのチェック項目の中に✓が入らない場合でも、「陰性証明が出来ている」「自宅待機期間が終了した」などの場合は、大会参加が出来ることとなります。健康チェックシートにはその際の理由もご記入頂き、ご提出ください。

〈参加判断基準〉

- ① チーム(出場校)とは、出場登録選手、監督、コーチおよび引率者だけではなく、活動や移動行程等を同一とする出場登録選手以外の部員、マネージャーおよびチーム関係者(トレーナー等)も含まれます。なお、チーム内に感染対策責任者(担当者)を最低1名設けて下さい。その際、未成年者や高校生は不可とします。(引率者や監督が兼ねる形で構いません)
- ② 大会参加日(試合当日)の4日前以内の期間に、チーム内で新型コロナウイルス感染者および濃厚接触者と特定され、試合当日までに登校を許可されていない者の参加は認めません。(ただし、下記⑥の場合を除く)
- ③ 大会参加日(試合当日)の4日前以内の期間に、チームに感染者が発生した場合、学校長はチームの出場辞退を検討及び判断してください。
- ④ 大会参加日(試合当日)の4日前以内の期間に、チーム内に濃厚接触者または体調不良者が出た場合、学校長はチームの出場の可否を検討及び判断してください。
- ⑤ 大会参加日(試合当日)までにチーム内関係者の感染(陽性)または濃厚接触の判定が間に合わない場合、当該学校の大会出場許可は以下の条件を満たした場合に限り認めます。
 - 学校長がチームの出場を可と判断していること。
 - 原則として、チーム全員に対してPCR検査もしくは抗原検査を実施し、大会参加者が陰性であると証明できていること。(PCR検査・抗原検査の費用はチーム負担とする。また、試合当日までに陰性証明ができない者に関しては、会場への立ち入りは認めない)
 - ただし、感染または濃厚接触が疑わしい者に関して、「明らかにチーム及び当該学校が起因でない場合」は、該当する個人に対してのみのPCR検査もしくは抗原検査の実施で構わないものとする。
 - 上記にある「明らかにチーム及び当該学校が起因でない場合」とは、チーム及び当該学校関係者と48時間以内に接触がないといえる状況を指します。
 - 引率責任者が大会参加者のPCR検査もしくは抗原検査の陰性確認を確実にを行い、大会主催者(本連盟の総務委員長および競技委員長)に報告し、大会出場許可を得ていること。

⑥ 大会参加日(試合当日)の4日前以内の期間にチーム内に濃厚接触者が出たが、その者の陰性証明がなされて濃厚接触者から解除(自宅待機期間の解除を)された場合、大会参加日(試合当日)までに学校長の許可があれば大会出場を認めます。

〈参加判断基準のフローチャート〉



参加判断基準⑤のケース

試合当日までに、
チーム内に感染疑いの者または濃厚接触疑いの者がいて、PCR 検査もしくは抗原検査を実施



該当者の検査結果が

試合当日までに検査結果が出た

試合当日までに検査結果が出ない

陽性判定

陰性判定

参加判断基準
④と同様

陽性判定

判定が間に合わない者

陰性判定者

参加判断基準⑤と同様

(学校長はチームの出場辞退を検討及び判断)

その者は試合会場に入れない

(当日は大会参加できないということ)

検査結果による陰性証明書の提出は不要ですが、
本人の検査結果の証拠となり得るものは各自で保管させ、
求められた場合に明示できるようにしておいてください。

参加判断基準④と同様
出場可の判断がされた場合は、
チーム内の陰性判定者のみ大会参加可能

注1:この参加判断基準は、政府や各都道府県から提言されている「濃厚接触者の自宅待機期間」の解釈を超えるものではありません。よって、濃厚接触者の定義や自宅待機期間に関しては、そちらに従うものとします。

注2:昨今、濃厚接触者の判断が保健所や各種医療機関だけではなく、該当者の所属チーム(学校)や家庭内(個人)といった独自で判断するケースが多くあります。独自で判断する場合、該当者の健康状態を最優先とすることはもとより、大会運営や試合に支障をきたすようなことが無いようにご注意ください。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

競技委員長:河原弘行

勤務先:共立女子第二高等学校

(学校代表)042-661-9952

(緊急連絡用競技委員会携帯)080-7095-5208